

2014年度JIA九州支部大分地域会 第7回例会

日時 2014年 11月18日(火) 19:00 ~ 20:30
会場 大分市ホルトホール405会議室
出席者 JIA会員 出席 10名、委任状 3名
協力会員7名・会員外3名
議事録作成者 金田勝美
議事録署名人 小田健

1. 報告事項

- ① 確認及び報告事項 後藤靖二会長
支部大会(長崎・佐賀)11/7~8に、大分から7名参加しました。「都市と建築からみた長崎の街」のテーマで講演会がありました。大会に先だっの支部役員会では、登録建築家について、再度地域会で話してもらいたいと言うことが、主な内容でした。例会で既に話していますが、個人的な意見を事務局までメールしてください。次に、委員会構成の担当メンバーについては、会議の中で執行部委任で決定。次年度事業は「講演会」で考えています。内容は今後検討。

2. 企画講演会 桑門超氏(善教寺住職・幼稚園園長)
佐伯市の「アートを生かした地域づくり」について、スライドと一緒に様々な話をして頂きました。アーティストとして、佐倉康之氏と吉岡利恵氏が主体的に携わった事業です。壁画を作成していく過程と参加したメンバーを中心に、丁寧な説明がありました。仕掛けの妙と参加したメンバーの達成感が画面一杯に溢れていました。ありがとうございました。

- ①ルンビニ幼稚園の屋外壁画(絵の具)
園児が頑張れる工夫(テープと目玉等)を、ペンキ仕上げで表現。地域コミュニティの拠点シンボルとして機能。施設の繋がりで、アメリカの小学生とのキャラクター壁画も行った。忍者スタイルが大好評。
②ケアタウンながとの壁画(フレスコ画)
120名の子供の絵を原画として、高齢者施設の天井に漆喰彫りの壁画を作成。延べ300名の参加者。フレスコ画は「命の永続性」とも云われ、ゴールデンタイム(時空の扉)の話もありました。

